

【企画案内】

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部 第2回 医療活動つづけたい勉強会

医療 DX 時代の診療所経営

“やってられない” 現場負担を、どう整理し、どう備えるか

日 時 2026年6月20日(土) 午後3時～5時

会 場 西宮市立勤労会館 第9会議室 (兵庫県西宮市松原町2-37)

JR西宮駅から南に徒歩約7分、阪神西宮駅から東に徒歩約8分

講 師 株式会社ジェイ・メディック 代表 酒井 陽一郎 氏

オンライン資格確認、マイナ保険証、電子処方箋、院内掲示・ホームページ掲載義務、施設基準の届出、ベースアップ評価料、かかりつけ医機能報告制度など、診療所には日々の診療以外にも次々と新しい対応が求められています。

一つひとつは「制度対応」「DX対応」と説明されますが、実際の現場では、確認すべき情報、入力すべき項目、説明すべき事項、提出すべき届出が増え、医師・スタッフ双方の負担は確実に重くなっています。

今回の勉強会では、こうした“やってられない”現場負担を出発点に、医療DX時代の診療所経営と現場対応について考えます。オンライン資格確認や電子処方箋は、単なるシステム導入ではなく、医師が診療中に何を確認し、どこまで責任を負うのかという問題でもあります。また、薬局・介護事業所・他医療機関との情報連携、在宅医療への対応、AI活用なども、今後の診療所運営を考えるうえで避けて通れないテーマになりつつあります。

制度に振り回されるだけでなく、何を押さえ、何を整理し、どこに備えるべきか。現場の負担感を共有しながら、これからも医療活動を続けていくための実務的な視点をお話したいと思います。

なお、事前アンケートにて先生方の関心事項やお困りごとをお聞きし、当日の内容にも可能な範囲で反映したいと考えています。ぜひ率直なご意見をお寄せください。(酒井 記)



酒井 陽一郎(さかい よういちろう) さん ご略歴

医療機関向けシステムの導入・運用支援を行い、ORCA、オンライン資格確認、医療DX、ICT連携、AI活用など、診療所の現場に即した支援を行っている。大阪府保険医協会、医師会等で医療DX・AI活用に関する講演を行う。制度やシステムを単なる「導入すべきもの」としてではなく、現場で本当に使えるか、負担に見合う価値があるかという視点から解説している。

※お問い合わせは、協会事務局 TEL:078-393-1840 伊地知、呉、山田まで

【来場参加の申し込み】 FAX(078-393-1820)でお申し込みください

お名前 () 医療機関名 ()
TEL () 職種 ()

西宮・芦屋支部 医療活動続けたい勉強会 会員アンケート

問1 先生の主な標榜科目

- 内科 外科 整形外科 小児科 精神科・心療内科
 皮膚科 耳鼻科 眼科 泌尿器科 その他()科)

問2 先生の年齢は以下のどの区分に該当しますか

- 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上 回答しない

問3 最近の診療等で“やってられない”と感じる事項があればチェックください。(複数回答可)

- オンライン資格確認・マイナ保険証関連への対応 電子処方箋への対応
 電子カルテの情報共有サービスへの対応 他医療機関・事業所とのICT連携
 電子カルテ「義務化」 外来データ提出加算・充実管理加算 ベースアップ評価料
 改定に伴う施設基準の届出直し 減点・返戻帳票や再審査請求のオンライン化
 かかりつけ医機能報告制度 医療DX全般への対応
 院内掲示・HP掲載義務の増加・複雑化 長期収載品など選定療養への対応
 納得のいかない減点 物価高と診療報酬のアンバランス 薬剤・材料の供給不足

問4 その他“やってられない”と感じる事項があればお書きください。

問5 当日、特に聞きたいテーマをお選びください。

- 医療DXは診療所に何を求めているのか オンライン資格確認・薬剤情報閲覧の実務負担
 電子処方箋で医師の責任はどう変わるのか ベースアップ評価料と診療報酬上の評価
 在宅医療・地域連携とICT 標準型電子カルテ・情報共有サービスの今後
 AIを診療所業務にどう使えるか そもそも何から対応すればよいのか その他

問6 当日、講師に聞いてみたいこと、取り上げてほしいことがあればお書きください。

問7 研究会終了後の資料送付を希望されますか。

- 希望する 希望しない

地区() 医療機関名() お名前()
メールアドレス()

FAX (078-393-1820) または Web でご回答ください。



<https://bit.ly/4u6RaSO>